

別添 3 (第 4 の 1 関係)

令和 7 年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名 項目	鳥取県
(1) 会議等の名称	市町村会議
(2) 日時	令和 7 年10月15日 (水)
(3) 場所	中部総合事務所 (倉吉市)
(4) 参加機関と人数	鳥取県農林水産部畜産振興局畜産振興課 (2 名)、鳥取県教育委員会事務局体育保健課 (1 名)、鳥取県学校給食会 (1 名)、市町村教育委員会学校給食担当 (15名)、大山乳業農業協同組合 (1 名)、鳥取県牛乳普及協会 (2 名) 計22名
(5) 議題	・ 令和 7 年度学校給食用牛乳等供給推進事業の内容について ・ 令和 8 年度学校給食用牛乳供給推進事業について
(6) 概要	・ 令和 7 年度学校給食用牛乳供給事業の実施状況報告 (鳥取県牛乳普及協会) ・ 酪農・乳業情勢の近況について説明 (大山乳業農業協同組合) ・ 令和 8 年度学校給食用牛乳供給計画について説明 (鳥取県牛乳普及協会) ・ 鳥取県学校給食用牛乳の価格改定の動向について説明 (鳥取県牛乳普及協会)
(7) 成果	・ 令和 7 年の実施状況と令和 8 年度の計画について共有が図れた。 ・ 鳥取県の方針について共有と包材資材、製造コスト、配送コストの高騰について現状認識がなされた。 ・ 令和 8 年 4 月価格改定の実施についてその背景と酪農・乳業情勢についての理解が得られた。 ・ 令和 7 年 4 月より開始している学校給食Web発注システム及び、無償サンプル (各学校1個/日) 廃止について現段階において大きなトラブルの報告が無いことについて共有が図れた。

別添 3 (第 4 の 1 関係)

令和 7 年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

項目	都道府県名	島根県
(1) 会議等の名称		学校給食用牛乳供給推進会議
(2) 日時		令和 8 年 1 月 29 日 (木)
(3) 場所		島根JAビル (松江市)
(4) 参加機関と人数		島根県農林水産部畜産課(2名)、島根県保健体育課(1名)、島根県PTA連合会(0名)、島根県学校栄養士会(1名)、島根県学校給食会(2名)、島根県農業協同組合(1名)、学乳供給事業者(4名)、島根県牛乳普及協会(3名) 計14人
(5) 議題		①全国会議の報告について ②学校給食用牛乳供給における要望・意見交換について
(6) 概要		①給食費の積算の中には地域のかかり増し経費が含まれないということで学乳事業については継続する。 ② ・ 県内一部市町村の教育委員会や学校へ訪問し、隔日、前日配送を依頼した。 ・ 学校のセキュリティ関係に不安があり、隔日配送の受入れが難しい。理想の配送形態へなかなか近づけない。 ・ ストローレスになると環境問題としては非常に良い題材であるが製造上や衛生面でもリスクが生じてくる。
(7) 成果		・ 事業内容とスケジュールを確認し、適正な事務処理の認識共有ができた。 ・ 供給事業者全員が衛生管理に関する資格を取得しており、実施要領別紙11第2の1の(1)に規定されている、供給事業者が、個別の研修等を受講しているため、今年度から、本事業を活用しての衛生管理基準に関する研修は省略した。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名 項目	岡山県	
(1)会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進会議	第2回学校給食用牛乳供給推進会議
(2)日時	令和7年7月24日(木)	令和8年3月18日(水)
(3)場所	岡山県学校給食総合センター(岡山市)	岡山県学校給食総合センター(岡山市)
(4)参加機関と人数	岡山県畜産課(2名)、岡山県教委(2名)、岡山市教委(2名)、津山市教委(1名)、おかやま酪農業協同組合(1名)、オハヨー乳業(2名)、山陽乳業(2名)、蒜山酪農(1名)岡山県学校給食会(5名)計18名	岡山県畜産課(1名)、岡山県教委(1名)、岡山市教委(2名)、倉敷市教委(1名)、津山市教委(1名)、岡山県学校栄養士会(1名)、おかやま酪農業協同組合(1名)、オハヨー乳業(1名)、山陽乳業(2名)、蒜山酪農(1名)、岡山県学校給食会(5名)計17名
(5)議題	①説明 (1)令和6年度事業報告について (2)岡山県学校給食用牛乳供給推進業務方法書について (3)令和7年度事業計画について ②意見交換 (1)配送効率化に向けた実証の取組の実施について (2)その他	①説明 (1)令和7年度事業進捗状況 (2)令和8年度事業(国)について (3)令和8年度実施計画について (4)その他 ②意見交換
(6)概要	①説明 (1)令和6年度持続的生産強化対策事業推進費補助金等(学校給食用牛乳供給推進)実績報告書について説明。 (2)業務方法書の改正箇所を説明。 (3)令和7年度事業計画、令和7年度持続的生産強化対策事業推進費補助金等(学校給食用牛乳供給推進)交付申請書、令和7年度年間スケジュールを説明。 ②意見交換 (1)配送効率化に向けた実証の取組の概要を説明。ご意見や実施希望等は特に無かった。 (2)岡山県畜産課より令和8年度から供給区域を変更(25区域→11区域に統合)する旨説明があった。それに対し、区域の変更で配送ルートは変わるのかとの質問があり、一度決めた配送ルートを変更するのは大変なので変えるつもりはないとの意見が出た。	①説明 (1)令和7年度学校給食用牛乳供給事業進捗状況(2月分まで)について説明 (2)学校給食用牛乳に関する農林水産省畜産局牛乳乳製品課の令和8年度の予算の概要について説明 (3)令和8年度学校給食用牛乳供給推進実施計画について説明 (4)その他 ②意見交換 ・今後に向けて、隔日配送のお願いをしていく方向で考えている。市町村にはご協力をお願いしたい。 他県で乳業者と市町村が共同で冷蔵庫を購入した事例があると聞いている。岡山県でも出来ないかという要望があった。それに対し県単位での一律の対応は難しいが、個別に今後協議して行けたら良いと思うという意見が出た。 ・文科省から押印・FAXを廃止する方針が出ていると思うが、実際問題として可能かという質問が上がった。それに対し、FAXからメール送付に変わると逆に負担が増える所もあるが、かつてHPにログインして発注や変更をしていた業者があり、このやり方ならセキュリテイの問題はないと思うと回答があった。 ・津山市の児童生徒の約半数が牛乳が苦手という調査結果が出ている。比較的飲みやすい低温殺菌牛乳の供給はできないかという要望が上がった。 それに対し、中学校を卒業して以降飲むのは普通の牛乳なので、普通の牛乳が飲めるように食育していくべきだという意見が出た。
(7)成果	・令和6年度学乳事業報告について情報共有できた。 ・令和7年度学乳事業計画及び年間スケジュール等について情報共有できた。 ・令和8年からの供給区域の変更、供給計画の様式変更等についての情報共有できた。	・令和7年度事業の進捗状況について情報共有できた。 ・令和8年度事業についての確認できた。 ・令和8年度実施計画について情報共有できた。 ・隔日配送の依頼、FAX廃止の可否、低温殺菌牛乳の供給の可否等について情報共有できた。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名	広島県			
項目				
(1)会議等の名称	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議の開催			
(2)日時	令和7年5月23日(金)	令和7年9月11日(木)	令和7年12月11日(木)	令和8年2月25日(水)
(3)場所	広島ガーデンパレス(広島市)	広島県牛乳普及協会学乳部会事務所(広島市東区)	広島ガーデンパレス(広島市東区)	広島ガーデンパレス(広島市東区)
(4)参加機関と人数	広島県農林水産局畜産課(2名)、山陽乳業(株)(2名)、日本酪農協同(株)広島工場(2名)、チチヤス(株)(2名)、広島協同乳業(株)(2名)、広島県牛乳普及協会(1名) 計11名	山陽乳業(株)(2名)、日本酪農協同(株)広島工場(2名)、チチヤス(株)(2名)、広島協同乳業(株)(2名)、広島県乳業協同組合(1名)、広島県牛乳普及協会(1名) 計10名	山陽乳業(株)(2名)、日本酪農協同(株)広島工場(1名)、チチヤス(株)(1名)、広島協同乳業(株)(2名)、広島県牛乳普及協会(1名) 計7名	広島県健康福祉局食品生活衛生課食品衛生グループ(1名)、広島県農林水産局畜産課酪肉振興グループ(1名)、山陽乳業(株)(2名)、日本酪農協同(株)広島工場(1名)、チチヤス(株)(2名)、広島協同乳業(株)(2名)、広島県牛乳普及協会(1名) 計10名
(5)議題	①令和7年度広島県農林水産局畜産課担当者の紹介 ②令和7年度学乳推進事業等について ③学乳精算事務について ④令和7年度特別会計(会費等)について ⑤その他	①広島県農林水産局畜産課・広島県教育委員会への次年度に向けての要望等について。 ②全国乳業共同組合連合会ブロック会議について報告(学乳事業の状況)。 ③令和8年度「ひろしま給食推進プロジェクト」出前講座への日程調整を含む協力要請。 ④広島ワードフェスタ(生乳生産者団体・牛乳普及協会参加)への協力要請。	①令和8年度以降、学乳の原料仕入れ等問題点について。 ②令和7年度学乳推進事業等について。 ③学乳事業第2回目概算払い請求・書類整備について。 ④その他。	「牛乳衛生講習会」へ衛生管理基準に基づく食品製造等における注意点について～
(6)概要	①今年度より広島県農林水産局畜産課の人事異動において担当者が全て異動となったため改めて紹介した。 ②令和7年度学乳推進事業における申請等の予定・業務方法書を示した。また、不慮の事故による給食用牛乳代替供給(案)についても協議した。 ③給食用牛乳供給に係る県内統一単価による精算業務について報告。 ④通常総会に向けての今年度の学乳部会会費(給食用牛乳業務推進)について報告した。 ⑤広島県教育委員会から参画要請を受けて毎年実施している「ひろしま給食推進プロジェクト」出前講座への協力要請。	①令和8年度に向けての広島県農林水産局畜産課との情報交換(学乳入札への要望)での学乳供給事業者4社としての意見集約(他府県の状況・過去の値上げ状況等価格)を図った。 ②学乳値上げの実態共有(2025年度全国平均2.86円/本・本県1.60円/本)。 ③現在までに出席講座依頼のあった小学校一覧を示し供給事業者で日程調整をすることとした。 ④広島県フードフェスタ出店に伴う牛乳・乳製品の供給等依頼について共有した。	①今年度、学乳事業者1社より県産学乳仕向原料乳がショートする事例が発生しており、原料仕入れの対応について何処に相談すれば良いのかの相談が事務局にあり、他業者の現況を含めた話し合いを行う。 ②令和7年度学乳推進事業における進捗状況を示す。 ③学乳事業概算払い請求に係る日程等を示し、それに伴う書類等整備について依頼。 ④その他	資料に基づき、広島県健康福祉局食品生活衛生課より講演を受けた。 ①食中毒の発生状況について ②ノロウイルスについて ③食中毒予防について ④HACCPの検証について ⑤牛乳に関するトピックス
(7)成果	・学乳事業に関わる広島県農林水産局畜産課を含めた情報共有を図ることができた。また、今年度の学乳事業対応がスムーズに行える対応について各事業者への確認ができた。	・学乳供給に関わる全国の供給単価等情報共有することができた。 ・次年度に向けての要望(諸経費の値上げ状況等価格)の共有確認が図れた。 ・出前講座対応について承諾を得られた。	・原乳については、生産者団体に要望するのではなく、指定生乳生産者団体(中国生乳販連)との契約内容を確認した。また、今後においては需要期・不要期を見据えた生乳生産を強く要望した。 ・学乳事業に関わる情報共有を図ることができた。また、今年度の学乳事業精算がスムーズに行える対応について各事業者への確認ができた。	・今回の研修会により、食品に携わる人間としての食中毒予防に対する認識再確認が出来た。 ・HACCP検証のPDCAサイクルに関しても状況に応じた見直し変更は必要である。また、食品を扱う者としての自己啓発ができた。 ・牛乳に関する危害事故等発生時の適切な対応について再確認を行った。

別添3 (第4の1 関係)

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名 項目	山口県
(1) 会議等の名称	令和7年度学校給食用牛乳供給推進会議
(2) 日時	令和8年3月3日 (火)
(3) 場所	防長苑 (山口市)
(4) 参加機関と人数	防府酪農農業協同組合 (1名)、やまぐち県酪乳業株式会社 (2名)、山口県PTA連合会 (1名)、山口県学校栄養士会 (1名)、山口県教育庁学校安全・体育課 (1名)、山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課 (2名)、山口県環境生活部生活衛生課 (1名)、山口県酪農乳業協会 (4名) 計13名
(5) 議題	①山口県の学校給食用牛乳の供給状況 ②令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施状況 ③令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業について ④令和7年度学校給食用牛乳に関するHACCP研修会
(6) 概要	①当県の実施校数・供給日数・供給人員・供給本数の推移、容器別供給状況、学校給食用牛乳供給における制度、供給価格及び供給事業者について資料に基づき説明した。 ②事業の趣旨、補助金、事業の内容、農林水産省の交付決定額について資料に基づき説明した。 ③事業内容はR7年度と大きな変更はない旨等を説明した。 ④供給事業者をはじめ学校給食関係者の方を対象に、HACCPに沿った衛生管理研修会を開催し、適切な製造工程の遵守及び製造機器の日常的な点検等安全な食品の製造について認識を深めた。
(7) 成果	・推進会議で令和7年度の事業の推進状況を報告し、学乳事業全体の理解を深め、令和8年度の事業計画策定に向けて反映することができた。 ・会議の役割として、事業実施計画の策定、事業評価、課題等の実施が規定されており、意思決定の過程において、意見や助言を充分反映していきたい。 ・学校給食の牛乳に係る本県の課題解決や事業の円滑な実施に向けて、本事業への積極的な取り組みや、牛乳消費の定着・拡大のための問題解決へ向けたご意見をいただき、関係各所の今後の協力を再度お願いした。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名 項目	徳島県		
(1)会議等の名称	第1回推進会議	第2回推進会議	第3回推進会議
(2)日時	令和7年5月20日(火)	令和7年8月22日(金)	令和8年3月
(3)場所	徳島県酪農業協同組合(名西郡)	徳島県酪農業協同組合(名西郡)	書面開催(郵送対応)
(4)参加機関と人数	徳島県教育委員会(1名)、徳島県学校給食会(1名)、学校長会会長(1名)、乳業メーカー(2名)、生産者代表(2名)、徳島県酪農業協同組合(2名)、徳島県畜産振興課(3名)計12名	学校長会会長(1名)、保護者会会長(1名)、乳業メーカー(3名)、生産者代表(2名)、徳島県酪農業協同組合(1名)、徳島県畜産振興課(2名)計10名	・資料送付先 徳島県教育委員会、徳島県学校給食会、学校長会会長、保護者会会長、乳業メーカー、生産者代表、徳島県畜産振興課
(5)議題	学校給食用牛乳供給価格の期中改定について	①令和6年度持続的生産強化対策事業(学校給食用牛乳供給推進)実績について ②令和7年度持続的生産強化対策事業(学校給食用牛乳供給推進)計画について ③供給価格期中改定に関することについて ④その他	①令和7年度学校給食用牛乳供給推進事業実施状況について ②令和8年度学校給食用牛乳供給推進事業の内容について
(6)概要	・今年度の乳価交渉の結果、4月に飲用向け乳価を4円/kgの値上げで決着し、令和7年8月1日から適用することが決定されたことを報告。 ・またこの決定に伴い乳業者からは学乳供給価格についても200cc1本あたり82銭の値上げについて徳島県に要望があったことを伝えた。 ・学乳供給価格、価格改定時期について、供給事業者2者から期中改定に対する対応について説明を求めた。 ・事務局より価格改正に関して令和7年度学乳供給先への対応について(案)を説明。	①令和6年度持続的生産強化対策事業(学校給食用牛乳供給推進)実績について報告。 ②令和7年度学乳供給価格、供給計画、事業に係る計画額について説明した。事業内容は令和6年度同様で学校給食用牛乳供給円滑化推進と安定需要確保対策に取り組む。 ③事務局より、教育委員会、関係学校へ価格改定について説明後、意向確認をお願いしたことについて結果を報告した。調査件数40件中8件から承諾が得られなかった。生産者団体も訪問するため調整していたが同意には至らなかったことから、7年度期中改定を見送ることとした。関係機関からの意見も参考に、今後の対応を協議していくこととした。 ④令和7年4月～7月の供給実績及び進捗状況について報告。衛生管理研修会の開催は省略するが、自己点検結果を記入した自己チェックリストは提出いただくよう依頼した。また、令和6年度から事業実施主体と供給事業者は「環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート」の提出が求められる。全ての補助事業が対象となるため供給事業者に協力をお願いした。	・資料を参加機関に送付し書面開催とした。 ①令和7年4月～令和8年2月の供給実績 ②令和7年度の内容とほぼ同様であること
(7)成果	・供給価格期中改定についての理解と情報の共有ができた。	・事業内容及び供給価格についての理解と情報の共有ができた。	・補助事業についての理解と情報の共有ができた。

令和7年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名 項目	香川県	
(1) 会議等の名称	第1回学校給食用牛乳供給推進会議	実態調査及び第2回学校給食用牛乳供給推進会議
(2) 日時	令和7年6月20日（金）	令和8年2月20日（金）
(3) 場所	香川県獣医師会館（高松市）	香川県獣医師会館（高松市）
(4) 参加機関と人数	県畜産課（2名）、県保健体育課（2名）、県学校給食会（2名）、県学校給食共同調理場連絡協議会（1名）、県栄養教諭・学校栄養職員研究会（3名）、県農業協同組合（1名）、乳業メーカー（6名）、県畜産協会（3名） 計20名	県畜産課（1名）、県保健体育課（2名）、県学校給食会（2名）、県PTA連絡協議会（1名）、県学校給食共同調理場連絡協議会（1名）、県栄養教諭・学校栄養職員研究会（2名）、県農業協同組合（1名）、乳業メーカー（6名）、県畜産協会（2名） 計18名
(5) 議題	①令和6年度事業実施結果について ②令和7年度事業実施計画について ③安定供給に向けた現場の課題、対応について（牛乳の安定供給、安全性の確保） ④その他（給食費の無償化、リサイクル等の取組み）	①令和7年度事業実施状況について ②令和8年度事業の実施について ③意見交換・実態調査（牛乳の安定供給、安全性の確保） ④その他（給食費の抜本的な負担軽減、その他）
(6) 概要	【主な意見等】 <u>牛乳の安定供給（在庫管理、キャンセルへの対応など）</u> （供給業者3社） ・これまで根拠のない“同一日付のみ”という制約により、端数の牛乳は廃棄処分をしてきた。2日までの日付混載納品が可能なら廃棄削減によるフードロス対策になり、あわせて物流面の負担軽減に繋がる。 ・急な休校の時は学校で保管し翌日の給食で使用いただければ、廃棄削減に繋がる。 （栄養教諭） ・牛乳は加工品なので本来は同一日付の縛りはないが、これまで供給業者の配慮により同一日付で納品されていた。日付混載納品の場合、保存食分が1個増えるが、この保管食の発注元や費用負担先が明確でない。この点の整理が必要。 ・日付混載納品を行う学校を年度ごとに指定して対応する方法も検討可能。 ・会議終了後、日付混載により追加となる保存食1個の扱いについて、栄養教諭と供給業者の間で調整を実施。その結果、一部の学校で日付混載納品を開始した。 <u>安全性の確保（衛生管理、液漏れ等の発生など）</u> （供給業者3社） ・ISO等の認証資格を習得し、年1回以上の外部審査を受審している。 ・R7年度は液漏れの報告はない。 ・牛乳パックへのストロー挿入時、斜めに挿すことでフィルム剥がれが生じる可能性を確認したので、“垂直にさす”旨の表示へ変更。 <u>給食費の無償化、リサイクル等の取組み</u> （保健体育課） ・給食無償化に関する補助金の流れや制度改正の詳細は未確定。今夏策定予定の“経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)”に盛り込まれる見通し。 ・市町ごとに給食費が異なり、全国一律の制度設計が難しく不透明な部分が多い。 ・R8年4月から小学校の給食費は無償化予定、中学校は現時点では国の方針は未定。 （供給業者） ・リサイクル材の採用、再リサイクル可能パック素材の導入、バイオマスプラスチック配合素材の活用に取り組んでいる。 ・学校給食用牛乳を“全量ストローレスパック”で供給する県があり、香川県でも提供地域を広げたい意向はあるが、現状では地域拡大が難しい状況。	【主な意見等】 <u>牛乳の安定供給（在庫管理、キャンセルへの対応など）</u> （供給業者） ・2日までの日付混載納品（保存食用の追加1本をメーカー負担）を9月から一部学校で実施した結果、廃棄量が前年比99%以上削減。令和8年度も継続予定。 ・天災・インフルエンザ等による数量変更は前日まで変更可能だが、当日キャンセル分の返品・引取りが課題。 （栄養教諭） ・ゼリーなどで既に日付混載納品の実績がある。牛乳でも同じ仕組みを導入のため“費用負担先の明確化”が必要。 <u>安全性の確保（衛生管理、液漏れ等の発生など）</u> （栄養教諭） ・特に大きな問題は確認されていないが、県外の学校で不適切な取扱いが発生した事例があったため、その情報を共有し、納品後の適切な管理を徹底している。 <u>給食費の抜本的な負担軽減</u> （保健体育課） ・令和8年度は国の財源で負担し公立小学校給食の抜本的な負担軽減が実現するが、令和9年度以降は制度の継続可否も含めて不透明。 ・これまで小学校給食に充てていた“重点支援交付金”を、中学校給食の負担軽減に振り向ける市町もある。 <u>その他</u> （供給業者） ・四国明治㈱財田工場閉鎖に伴い、学乳の入札は令和8年度分で終了する。 （酪農センター） ・県内の生乳生産量は今後も大きく変わらないが、流通コストは確実に上昇する。 （畜産協会） ・学乳の風味変化等により供給が停止する事案の発生をうけ、Jミルクと関係団体が原因解明と早期再開に向けたガイドラインを令和7年11月に策定。このガイドラインに基づき調査と再開判断を行う一方、既存の対応マニュアル(R3.3月改訂)に沿って実務対応を行い、安全確保と迅速な供給再開を図るためのモデル的な流れを説明。
(7) 成果	・令和6年度事業実施結果および令和7年度事業実施計画について、理解を得られた。 ・学乳に係る関係者間で意見交換ができ、課題・要望などの情報共有ができた。	・学乳給食用牛乳供給について課題の共通認識、情報共有を図ることができた。

別添 3 (第 4 の 1 関係)

令和 7 年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

項目 \ 都道府県名	愛媛県
(1) 会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議
(2) 日時	令和 7 年 5 月 21 日 (水)
(3) 場所	愛媛県酪農業協同組合連合会 (東温市)
(4) 参加機関と人数	愛媛県農林水産部畜産課 (1 名)、愛媛県教育委員会保健体育課 (1 名)、愛媛県 PTA 連合会 (欠席)、(公財) 愛媛県学校給食会 (1 名)、愛媛県学校栄養士協議会 (1 名)、四国乳業株式会社 (4 名)、愛媛県酪農業協同組合連合会 (2 名) 計 10 名
(5) 議題	・ 令和 6 年度学校給食用牛乳供給事業実績について ・ 令和 7 年度学校給食用牛乳供給事業の概要について ・ 令和 7 年度学校給食用牛乳供給事業計画について ・ その他
(6) 概要	・ 学校給食用牛乳供給事業の他、(公財) 愛媛県学校給食会より、期中改定の質問があり、四国乳業株式会社が飲用乳価が 4 円/kg 上がるため 200cc1 本当たり 82~83 銭上がる見込みと回答した。その後質疑応答はなく承認された。
(7) 成果	・ 関係機関・団体に対して事業の目的や内容を周知することで、より円滑に事業の推進ができるようになった。

令和 7 年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち
学校給食用牛乳供給推進会議の実施結果
(中国四国農政局)

都道府県名	高知県		
項目			
(1) 会議等の名称	高知県学校給食用牛乳供給推進協議会	衛生管理研修	学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議
(2) 日時	令和 7 年10月 8 日 (水)	令和7年12月18日 (木)	令和 8 年 3 月12日 (木)
(3) 場所	公益財団法人高知県学校給食会 (高知市)	ちより街テラス会議室 (高知市)	書面開催 (郵送)
(4) 参加機関と人数	高知県教育委員会 (1 名)、高知県牛乳普及協会 (ひまわり乳業) (2 名)、四国明治 (2 名)、四国乳業 (1 名)、吉本乳業 (1 名)、JA高知県 (1 名)、高知県学校栄養士会 (1 名)、高知県畜産振興課 (1 名)、高知県学校給食会 (3 名) 計13名	東洋産業(講師) (1 名)、四国明治 (1 名)、四国乳業 (2 名)、吉本乳業 (1 名)、高知県牛乳普及協会(ひまわり乳業) (3 名)、高知県学校給食会 (3 名)	市町村教育委員会学校教育課 (36通)、高等学校牛乳担当者 (12通)、支援学校牛乳担当者 (10通)、市立学校牛乳担当者 (2 通)、国立学校牛乳担当者 (3 通)、私立学校牛乳担当者 (1 通)、高知県畜産振興課 (1 通)、高知県学校給食会 (1 通) 計66通
(5) 議題	①令和 7 年度学校給食用牛乳供給事業について ②その他	令和 7 年度学乳事業に係る供給事業者の衛生管理研修会	①令和 7 年度学校給食用牛乳供給事業実施状況について ②令和 8 年度学校給食用牛乳供給事業について
(6) 概要	①推進会議の開催趣旨の説明、令和 6 年度実績の報告、令和 7 年度計画申請書の内容説明、供給事業者に向けてHACCPに沿った衛生管理研修への参加依頼と、自己工場チェックシートの提出依頼を行った。 ①について、県農業振興部畜産振興課から令和 7 年度事業の内容の説明、及び令和 8 年度学乳事業方針の協議があった。 ②その他 ・各供給業者より配送時の工夫等の意見交換があった。また、価格高騰における乳価の今後の動向について説明があった。	・学校給食を取扱う事業者に関連する法令 ・虫を中心とした対策について ・異常の早期発見	・令和 8 年度事業の内容に大きな変更もなかったため、関係機関に事業内容資料を郵送して対応した。
(7) 成果	・令和 6 年度学乳事業実績と、令和 7 年度事業内容の把握ができた。 ・配送時の工夫等の業者間共有を行った。	・ HACCP制度化に対応する予知保全の大切さの確認。	・ 学乳事業実施についての理解と周知。